

台風情報についてもっと知るために…

台風の定義

台風	北西太平洋または南シナ海に存在する熱帯低気圧のうち、低気圧域内の最大風速がおよそ17m/s（34ノット、風力8）以上のもの
熱帯低気圧	熱帯または亜熱帯地方に発生する低気圧。気象情報等では低気圧域内の最大風速がおよそ17m/s未満のものを指す

台風情報の種類

種類	発表内容
進路・強度予報 台風経路図 全般台風情報 (位置情報)	台風や発達する熱帯低気圧（24時間以内に台風になると予想した熱帯低気圧）が存在する期間中、台風の位置や強さの実況と予報を発表 <ul style="list-style-type: none"> ■ 実況*2 ■ 12時間先*1、24時間先の予報*2 ■ 5日先までの1日刻みの予報*2 なお、台風が日本に大きな影響を及ぼすことが見込まれる場合は、24時間先までの詳細な位置や強さの予報を発表 <ul style="list-style-type: none"> ■ 1時間後の推定値*3 ■ 24時間先までの3時間刻みの予報*2
全般台風情報 (総合情報)	台風や発達する熱帯低気圧の見通しや予想雨量など防災にかかわる情報や災害への留意点、台風の発生や上陸などの情報（随時発表）
暴風域に入る確率	市町村等をまとめた地域毎の確率と格子毎の確率の分布について、120時間先まで3時間刻みの各時間帯と24、48、72、96、120時間以内の確率*4

- (*1) 台風の動きが遅い場合は、省略することがある
 (*2) (0), 3, (6), 9, (12), 15, (18), 21時（正時）の観測時刻から約50分後に発表。ここで、カッコ内の時刻では実況と24時間先までの予報のみ発表（発達する熱帯低気圧や台風が複数存在するときは約70～90分後になることがある）
 (*3) 毎正時の観測時刻から約50分後に発表
 (*4) 3, 9, 15, 21時（正時）の観測時刻から約60～70分後に発表（発達する熱帯低気圧や台風が複数存在するときは約80～120分後になることがある）

台風情報で用いられる用語

予報円	台風の中心が予報時刻に到達すると予想される範囲（確率はおよそ70%）
強風域	台風周辺で風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲
暴風域	台風周辺で風速25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲
暴風警戒域	台風の中心が予報円内に進んだときに暴風域に入るおそれがある範囲

台風の強さの表現

表現	最大風速（台風域内の10分間平均風速の最大値）
（表現しない）	33m/s未満
強い台風	33m/s以上 44m/s未満
非常に強い台風	44m/s以上 54m/s未満
猛烈な台風	54m/s以上

台風の大きさの表現

表現	強風域の半径	台風の平年値（1981～2010年の1年間あたりの平均値）
（表現しない）	500km未満	発生数 約26個
大型（大きい）	500km以上 800km未満	日本への接近数 約11個
超大型（非常に大きい）	800km以上	日本への上陸数 約3個



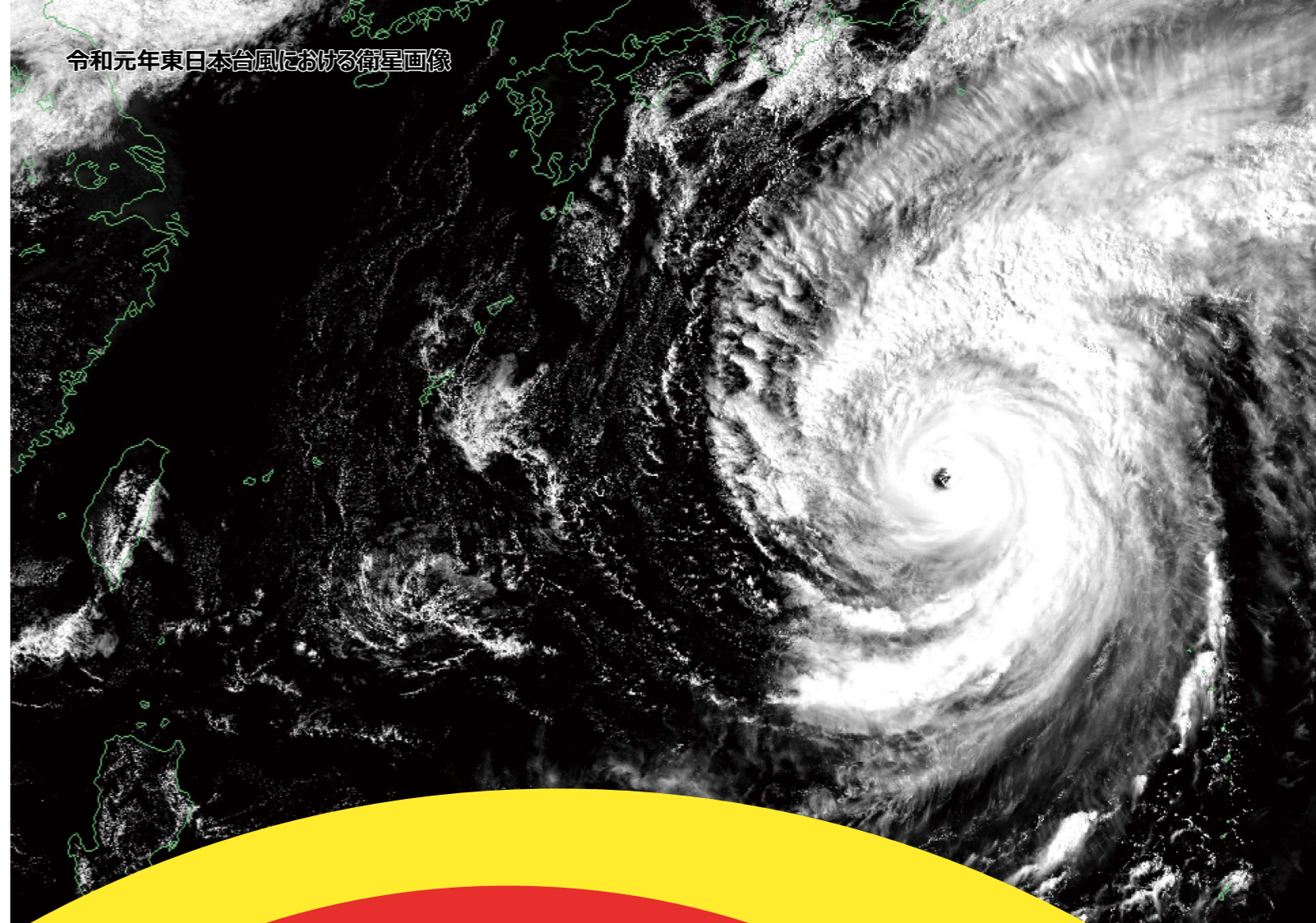
気象庁

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 TEL: 03-3212-8341
 ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma/>
 台風情報 <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>



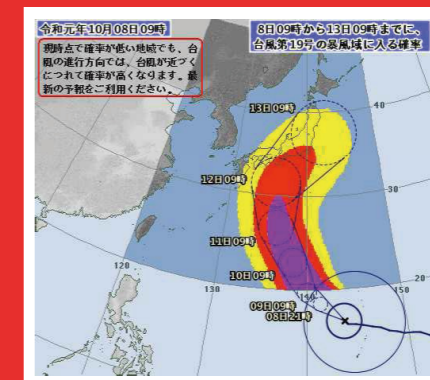
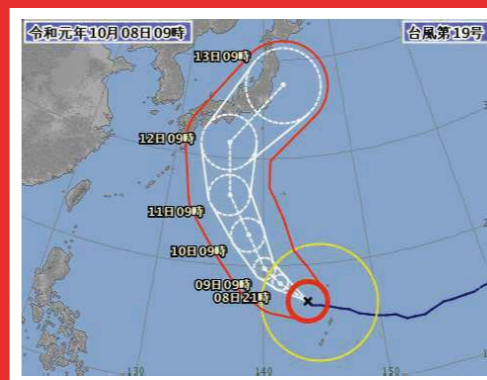
▲台風情報

令和元年東日本台風における衛星画像



台風情報の見方

—情報を効果的に利用して
 災害から命を守るために—



気象庁

Japan Meteorological Agency

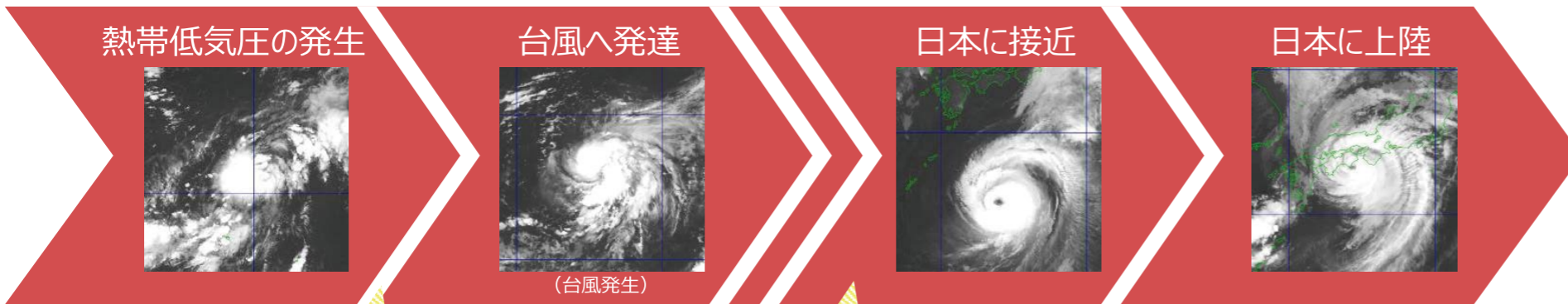
気象庁が発表する台風情報

<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>



台風の発生から上陸まで 気象庁は台風発生の1日前から台風情報を発表します。

▼ 日本に接近・上陸する台風の衛星画像の例

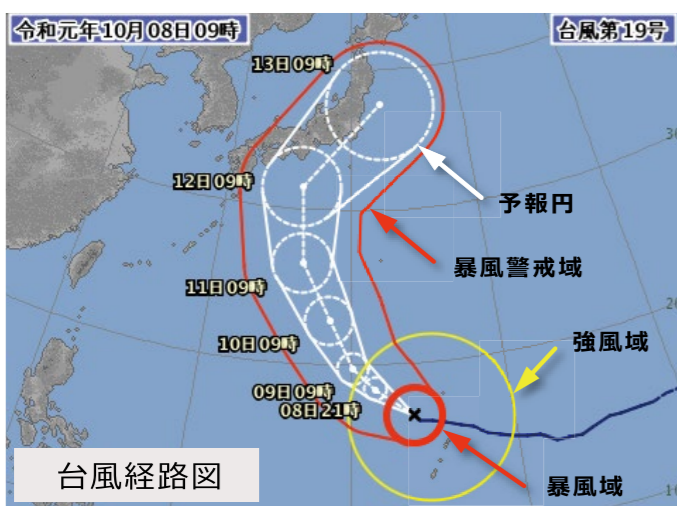


「熱帯低気圧」が発達して、低気圧域内の最大風速がおよそ17m/s以上になったものを「台風」と呼びます。

台風が日本に接近するまでに、早めに備えをしておくことが重要。

台風経路図、全般台風情報

台風・熱帯低気圧の位置や強さなどを予報し、防災上の注意を呼びかけます。



全般台風情報

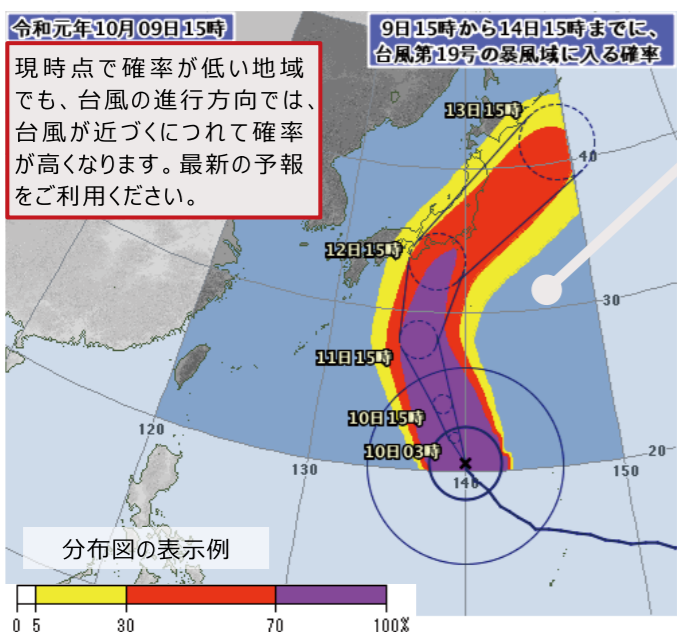
▼ 令和元年東日本台風例 (台風第19号)

令和元年 台風第19号に関する情報 第32号
令和元年10月10日17時25分 気象庁予報部発表

(見出し)
大型で猛烈な台風第19号の影響により、11日までは、東日本太平洋側から南西諸島にかけての広い範囲で猛烈なしけや大しけとなる見込みです。台風はその後、非常に強い勢力を保持したまま、12日午後から13日にかけて、紀伊半島から東日本にかなり接近または上陸し、東日本を中心とした広い範囲で

台風の今後の見通しや防災にかかわる情報、台風の発生や上陸などの情報について発表します。なお、熱帯低気圧の場合は標題が「発達する熱帯低気圧に関する情報」となります。

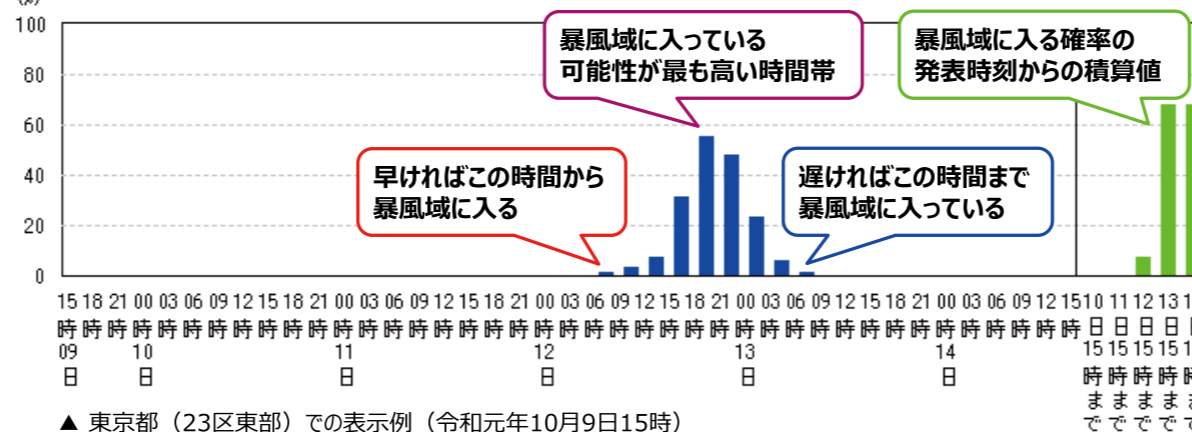
暴風域に入る確率 25m/s以上の暴風域に入る確率を分布図と時系列グラフで発表します。



分布図では、5日先までの暴風域に入る確率を色で表示

25m/s (90km/h) は 高速道路の自動車並みのスピード！ 立ってられないくらいの風なので大変危険です。

時系列グラフでは、地域ごとの暴風域に入る時間帯を知ることができます。



—災害から命を守るためには？

日頃からの備え

気象情報の入手先を確認しておきましょう

テレビ・ラジオ スマホアプリ ホームページ など。

ハザードマップなどで自宅とその周辺の危険な場所を事前に確認しましょう

避難場所を把握し、いざという時の行動を考えておくことが重要です。

台風接近の数日前

最新の情報を利用しましょう

発表される情報の種類や使用される用語については裏面をご覧ください。

家の外の備えをしましょう

風で飛ばされそうなものは固定するか、家の中に片付けましょう。

家の中の備えをしましょう

非常用品の確認や水の確保はできていますか？

台風が近づいた時

危険な場所には絶対に近づかないようにしましょう

- ・増水した河川のそば
- ・崖や溪流のそば
- ・高波が打ち寄せる海岸
- ・高潮や洪水によって浸水のおそれがある低い土地

暴風により避難が困難になりますので、暴風が吹き始める前に避難しましょう。

台風が過ぎても

台風が温帯低気圧に変わっても要注意!

台風が通り過ぎたり、温帯低気圧に変わったりしても、警報や注意報が解除されるまでは、油断しないようにしましょう。

台風が温帯低気圧に変わるときに、暴風域が急速に広がることもあります。

台風接近時の防災行動計画 (タイムライン) に沿った早めの防災対応に役立つ情報として、台風情報の他に、5日先までの警報級の現象の可能性について発表する早期注意情報や、警報・注意報、大雨によって災害発生の危険度の高まっている地域を表す危険度分布も気象庁ホームページで提供しています。